



2025 年 7 月 15 日

各 位

会 社 名 菊水化学工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 今井田 広幸
(コード番号 7953 東証スタンダード 名証メイン)
問合せ先 常務取締役 管理本部長 遠山 眞樹
T E L 052-300-2222

中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社は、2026 年 3 月期から 2028 年 3 月期の 3 ヶ年を対象とする中期経営計画を策定し、本日開催の取締役会において決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 前中期経営計画の総括

2023 年 3 月期から 2025 年 3 月期の 3 ヶ年では、事業基盤の強化と環境に配慮した製品の需要創造に努め、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指すべく「環境共生時代にふさわしいものづくり」の基本方針をもとに、事業を推進してまいりました。

重点施策の「収益基盤の構築」では、工場用の固定資産の取得、国内子会社の吸収合併、中国の上海子会社を清算するなど、経営資源を集約し生産性と製品競争力の向上に取り組みました。「環境と健康に配慮した製品の普及・拡大」「環境を意識したサプライチェーン」では、建築用仕上塗材で業界初となる CO₂ 排出量削減を可視化した製品を発売しました。「働き方改革の加速」では、従業員の働く環境整備、健康促進、地域貢献などに取り組み、当社のサステナビリティ経営を推進させました。

財務目標においては、原材料及びエネルギー価格の高騰や、物価高による消費マインド低下、それに伴う住宅リフォーム市場の低迷など、環境変化への対応が遅れビジネスモデルの転換ができなかった事で、売上高の目標達成には至りませんでした。利益面におきましては、不適切会計処理が発覚した事による対応や、基幹システム移行に伴った障害への対応、原価差異の会計処理変更など、不測の事態への経費計上などもあり、目標達成には至りませんでした。

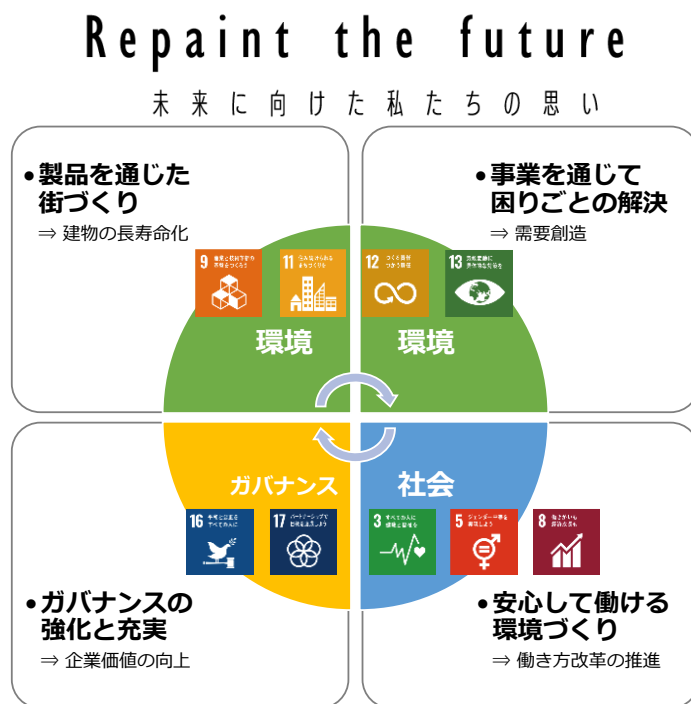
今後は、この 3 ヶ年の取組みを更に推進していくとともに、課題として残る内部統制の強化、取得した固定資産の有効活用、海外事業の再構築、付加価値製品による事業戦略で、新たなビジネスモデルの構築を図り、新中期経営計画の期間で事業基盤の強化と業績拡大に取り組んでまいります。

<3ヶ年の計画・実績>

項目(連結)	2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績
売上高	226億円	224億円	240億円	223億円	250億円	213億円
営業利益	4.8億円	5.6億円	6.3億円	5.5億円	7.8億円	2.6億円
経常利益	5.1億円	6.5億円	6.6億円	6.3億円	8.1億円	3.4億円
当期純利益	2.5億円	2.4億円	4.7億円	3.7億円	5.7億円	1.6億円

2. 長期ビジョン

当社は、創業より、世の中のため現状に満足することなく、環境に配慮した製品を開発してきました。そして、2050年までのビジョンとして、何もしなくてはくすんでしまう未来を、菊水化学の力で塗り変えたい、人・自然・暮らし・街を大切にしたいとの思いを込めて、サステナビリティ方針「Repaint the future」を掲げています。



<製品を通じた街づくり>

ニーズにマッチした製品開発と、魅力あるキクスイの独自性を追求し、よりよい製品の提供と共に、よりよい街づくりの一翼を担う活動に取組み、持続可能な社会の実現に貢献します。

<事業を通じて困りごとの解決>

創業より環境に配慮した製品開発と、世の中の困りごとを解決する事業活動で建物や構造物の長寿命化の一翼を担い、持続可能な社会の実現に貢献します。

＜安心して働ける環境づくり＞

社内環境の改善、人材育成の強化、多様な働き方ができる制度整備など、働き方改革の推進を行うと共に、当社と関わる全てのステークホルダーが幸福であり続けられる「しあわせ創造メーカー」を目指します。

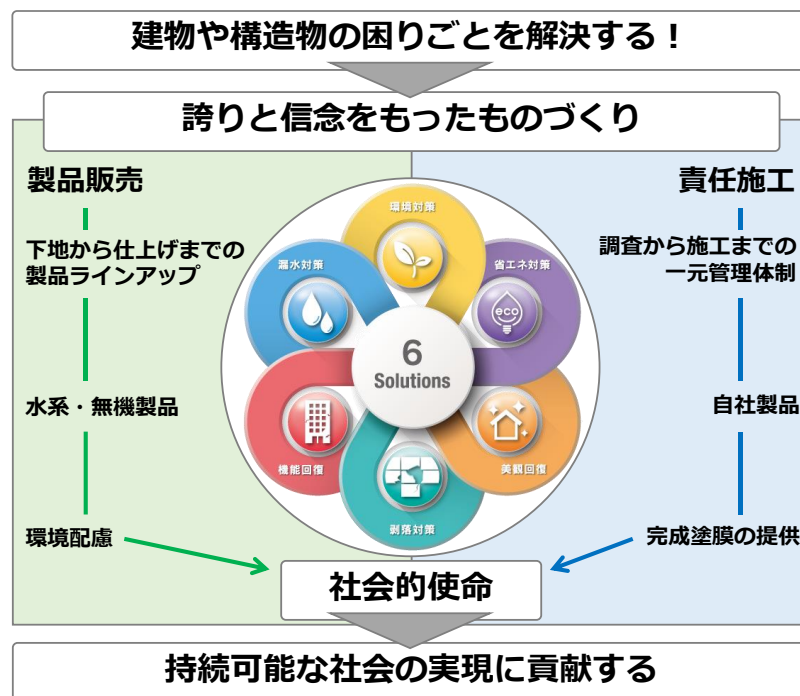
＜ガバナンスの強化と充実＞

コンプライアンスを徹底し、経営の透明性を高めます。また、地域社会への貢献として、未来へつなぐ「人」「もの」「こと」との関わりと通じて、企業価値向上に取り組めます。

3. 新中期経営計画の概要

当社グループを取り巻く環境は、ストック物件が増加している改修市場を中心に、高耐候性、低汚染性、遮熱性など、高付加価値製品へのニーズが高まっています。しかし、物価高の影響もあり、消費マインドの低下が長引いている事で、依然として潜在的に需要が多い戸建塗り替えを中心に市場が低迷しており、先行き不透明な状況が続いています。

その中で、2026年3月期から2028年3月期の新中期経営計画では、創業精神をもとに「誇りと信念をもったものづくり」を、基本方針に掲げました。そして、建物や構造物の困りごと、環境対策、省エネ対策、美観回復、剥落対策、機能回復、漏水対策を、当社グループの「6つのソリューション」として、製品の開発、製造、販売と、完成塗膜を提供する責任施工の事業で、持続的な企業価値向上に向け取り組みを推進してまいります。



< 6 つのソリューション >

菊水化学工業は、1959 年に塗装工事会社として創業しました。その後、下地から仕上げまでの製品を開発するメーカーに転身しました。そして現在は、長年培ってきたノウハウと専門的な知識から、建物の困りごとに対し最適な製品および工事をご提案します。

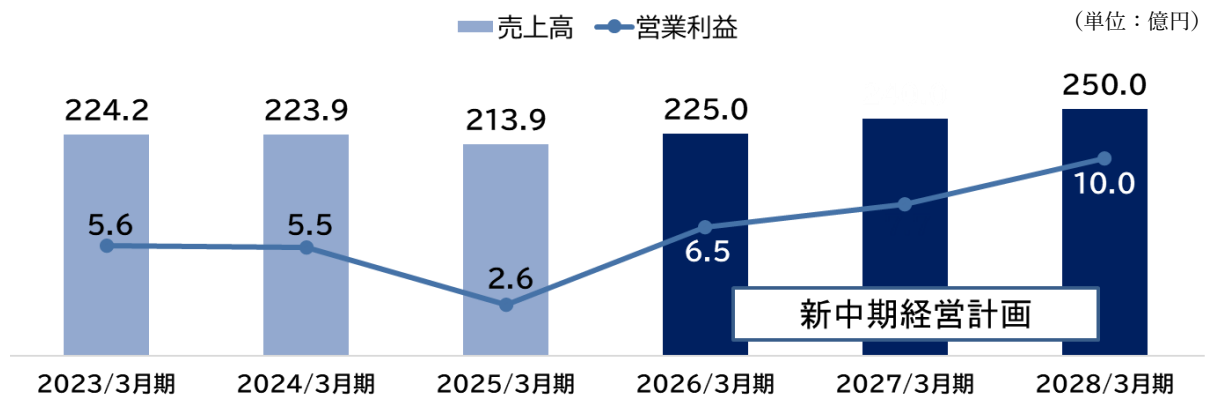
	困りごと		困りごと
環境対策	アスベストの飛散 健康被害 など	剥落対策	磁器タイルの浮き・割れ 二次災害（人災） など
省エネ対策	消費電力の増加 労働環境の悪化 など	機能回復	コンクリートの中酸化・塩害 など
美観回復	打放しコンクリートの 経年劣化 など	漏水対策	内壁・地下ピットの漏水・漏電 躯体の強度低下 など

4. 重点施策

重点施策	取組み課題	
信頼の獲得	サステナビリティ推進	環境に配慮した製品の普及・提案
		働き方改革の推進
		地域社会への貢献
	品質の向上	建物の長寿命化に貢献する製品拡充
		責任施工のプラットフォームを拡大
価値の創造	需要創造の拡大	社会インフラ市場の新規開拓
		新規事業領域への進出を模索
	製品の安定供給	固定資産の有効活用
		製品原価の低減
経営基盤の強化	財務の健全化	営業利益率 5%以上の基盤整備
		ROE 5%以上
		自己資本比率 50%以上の確保
	人的資本の高度化	Well-being の向上
		風通しの良い環境づくり

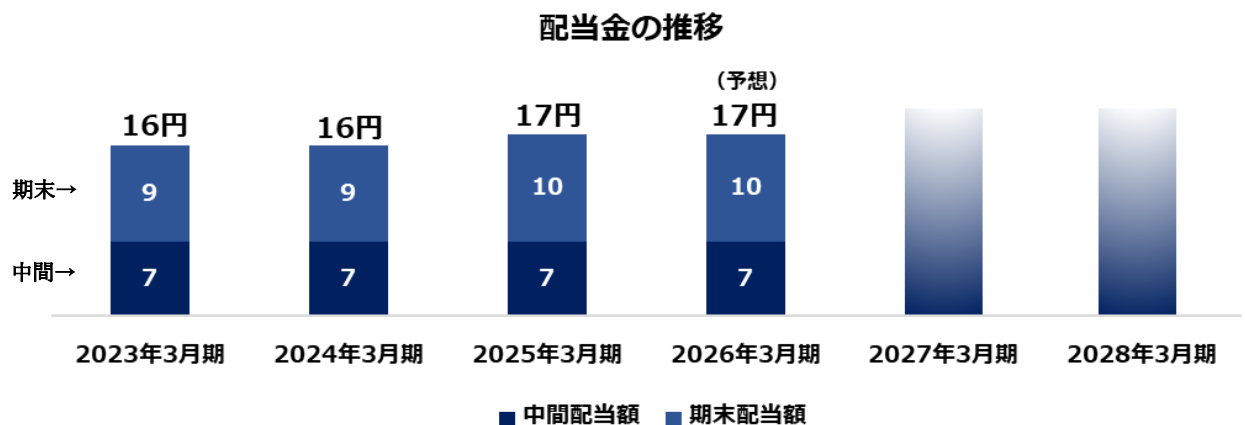
5. 経営目標

項目 (連結)	2026 年 3 月期 (予想)	2028 年 3 月期 (目標)
売上高	225.0 億円	250.0 億円
営業利益	6.5 億円	10.0 億円
ROE	期間中に 5%以上、2030 年までに 8%をめざす。	
自己資本比率	50%以上を確保する。	



6. 株主還元

当社は、株主還元を重要な経営課題の一つとして認識しております。配当については、会社の業績と配当性向、自己資本利益率（ROE）などを総合的に勘案して、増配など株主にとって有益となる還元方法を採用する方針であります。



※本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

以上